

# 令和4年度環境活動状況報告

部局名： 事務局

<p>教育</p>	<p>◆環境講義「環境マネジメントと環境経営」でゲストスピーカーとして施設主幹による「岐阜大学の環境への取り組み」の講義を2回実施した。(受講者:前学期41名,後学期42名)また、環境集中講義「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」の開講を支援した。(受講者20名)【施設】</p>
<p>研究</p>	
<p>社会連携</p>	<p>◆十六銀行と連携して、環境問題に対する意識の啓発を目的に、12回目となる「エコ活動啓発ポスター」のデザインを附属小中学校の生徒から募集した。12/15に学長室にて表彰式を行い、入賞者6名を表彰した。また、全応募作品を11月に図書館で展示した。【施設】</p> <p>◆第39回岐阜シンポジウム「岐阜県の野生動物 身近で多様な「隣人」たち～その魅力、保全、自然と共生した地域づくり～」を11/3に岐阜大学講堂で開催し、地域の自然環境への関心を高める機会とした。講演者は写真家、高校教員、アクア・トギ・学芸員など全て岐阜県在住のメンバーで講演が行われ、高校生から高齢者まで多くの参加があった。(会場:115人,Web:90人)【学術】</p> <p>◆岐阜県博物館と岐阜大学との連携企画展「岐阜県の野生動物 身近で多様な「隣人」たち」を図書館で開催(10/28-12/9)し、身近な生物のはく製や写真、学生の環境活動などを展示して、岐阜の自然環境への理解を深める場とした。多くの来場者があった。(14,578人)【学術】</p>
<p>キャンパスプラン</p>	<p>◆環境マネジメントシステムについて継続的に取り組み、ISO 14001の維持審査を11/10に受審し、1/13付けで認証の維持が認められた。</p> <p>◆本学職員と学生による内部環境監査を実施し、11/22に学生内部環境監査員の修了証授与式を実施した。</p> <p>◆クリーンキャンパスに積極的に参加し、環境美化と環境への意識向上を図った。</p> <p>◆メール会議やWeb会議、電子決裁(ワークフロー)の活用により、用紙の使用抑制ができた。</p> <p>◆「緊急節電行動」を実施するとともに、「省エネアクト for ゼロカーボンキャンパス」に基づき省エネルギー・節電の取り組みを実施した。</p> <p>◆事務系新任職員研修において、4/6に「ISO14001の取組について」の講義を実施した。【人事】</p> <p>・教育学部講義「植物形態学及び実験」(理科教育・生物・3年生)岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、キャンパスの自然を評価した。</p> <p>◆省エネルギーを推進するため下記を実施した。【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工学部校舎F棟,附属学校厨房及び第2食堂の空調設備を高効率機器に更新し、空調負荷を低減した。</li> <li>・全学共通教育棟の一部の部屋の照明をLED化。</li> <li>・糖鎖生命コア研究拠点工事で省エネルギーに配慮した以下のことを実施した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓ガラスは複層ガラスとする。</li> <li>・照明設備は高効率照明器具とし、調光のため昼光センサーを取り付ける。</li> <li>・空調設備は高効率機器とし、換気設備に全熱交換機を採用し空調負荷を低減する。</li> <li>・各階毎に使用電力量が計測できるようにする。</li> </ul> </li> </ul> <p>◆キャンパスマスタープランに基づき、環境保全を図ると共に、教職員・学生・学外の利用者が安全・安心で快適に過ごせる大学環境整備として以下の工事を実施した。【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;インフラ設備整備&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹・環境整備(ライフライン再生)通信設備</li> <li>・基幹・環境整備(ライフライン再生)受変電設備</li> <li>・給水ポンプ等の修理や高圧ケーブル線の改修を実施した。</li> </ul> </li> <li>&lt;構内道路・歩道修繕&gt; 構内舗装の補修を行った。</li> <li>&lt;照明設備更新等&gt; 全学共通教育棟の照明を改修。</li> <li>&lt;安全の確保&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部地区電力設備の中央監視設備の予防保全を行った。</li> <li>・図書館や講堂の屋上防水改修工事を行った。</li> <li>・工学部棟他の昇降機設備の部品取替えを行った。</li> </ul> </li> <li>&lt;研究拠点整備計画&gt;             <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖鎖生命コア研究拠点工事が完成した。</li> <li>・産学融合拠点整備:Tokai Open Innovation Complex(TOIC)の工事を引き続き実施している。</li> </ul> </li> </ul> <p>◆環境への取り組みの充実【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海機構として環境報告書を発行し、岐阜大学の取り組みとして環境リーフレットを発行した。</li> <li>・「環境報告書2022」について、富山大学と意見交換会を行った。</li> <li>・11月に環境月間行事を実施した。</li> <li>・持続可能な環境配慮型社会の構築に貢献する大学キャンパスとして、一般社団法人サステナブルキャンパス推進協議会(CAS-Net JAPAN)が主催するサステナブルキャンパス評価システム(ASSC)においてプラチナ認証を受けた。</li> <li>・環境報告書が評価され「サステナブルキャンパス賞2022 大学運営・地域連携部門」を受賞した。</li> <li>・学生の環境活動を支援し、学生サークルが第13回中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会で「学長賞」、「ともいきSDGsシンポジウム チャレンジアワード東学」で東海学園賞を受賞した。</li> </ul>

# 令和4年度環境活動報告

部局名： 研究推進部

教育	
研究	<p>○環境科学に関する研究を引き続き計画通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーを基盤とする地域分散型太陽光発電, バイオマスエネルギー, 地熱の高効率利用・アップグレード化・蓄エネルギー等の技術に関する研究</li> <li>・カーボンニュートラル化に向けたエネルギーシステム, ゼロカーボンキャンパス, カーボンリサイクルのための技術課題解決と実証に関する研究, 高性能速度制御等に関する研究</li> <li>・生態系の機能と動態に関する研究, 野生動物の管理に関する研究</li> <li>・温暖化に対する森林生態系の炭素・水循環機能の応答に関する研究</li> <li>・山地森林集水域における気象・生態系・生物多様性に関する研究</li> <li>・流域圏の自然環境—地域社会の持続的共生に関する研究</li> <li>・気候変動及び人口減少等の社会環境の変化が地域にもたらす影響評価手法の研究</li> <li>・気候変動影響に対する適応策の研究</li> </ul>
社会連携	<p>○「地域志向人材」と「次世代地域リーダー」育成を目指す「次世代地域リーダー育成プログラム環境リーダーコース」を, 岐阜県環境基本計画に基づいて岐阜県との連携のもと開始し, 環境人材の育成を推進した。</p> <p>○「次世代環境リーダー育成に係る連携授業」事業を岐阜県から受託して外部資金を獲得し, 環境人材・グリーン人材の育成を進めた。</p> <p>○環境人材の育成に関連して次の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省「令和4年度 教育機関と連携した地域再エネ導入促進及び地域中核人材育成研修」事業が採択され(外部資金の獲得), 包括連携協定を結んでいる山県市が2022年に設置した「山県市脱炭素協議会」と連携して, 地域に再生可能エネルギーを導入することで新たに生まれる地域内経済循環をどのようにデザインして地域活性化に結びつけるかを学生ならではの視点で提案する教育プログラムを推進した。</li> <li>・ゼロ・カーボンシティを宣言した輪之内町の受託事業「輪之内町における『ゼロカーボンシティ』推進及び環境人材育成事業」を推進し(外部資金の獲得), 輪之内町においてエコドーム開館20周年記念講演会を開催するとともに, ゼロカーボンシティを目指して地域住民との対話・共創の場, 中学生との対話・共創の場である「ぎふフューチャーセンター」を開催した。</li> <li>・岐阜大学公開講座「『SDGs × 地(知)の拠点』人がつながる地域づくりと大学」を開催し, 社会人・職業人に向けた生涯学習活動を推進した。</li> <li>・岐阜県教育委員会と連携し, 高大連携事業として, 「地域の未来とカーボンニュートラルについて考える」をテーマに, 豊かな暮らしのある地域の未来とカーボンニュートラルの実現の両立を目指した具体的な方策や方法の提案に向けて, 高校の枠を超えた8グループが課題に取り組んだ。</li> <li>・岐阜県気候変動適応センター共催で 環境研究総合推進費シンポジウム「長良川流域が直面する温暖化にどう適応するか? ~生態系の恵みと流域文化・産業を持続可能なものとするには~」を開催し, 長良川のための提案を共有するため, 地域の方にも開放して研究成果をわかりやすく報告した。</li> </ul>
キャンパスプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンキャンパスに積極的に参加し, 環境美化に努めるとともに環境に対する意識の向上を図った。</li> <li>・環境マネジメントシステムに係る教育訓練再確認シートをMicrosoft Formsを用いてオンラインで回答できるようにし, 環境意識の自己啓発に努めた。</li> </ul>

# 令和4年度環境活動報告

部局名：学務部

教育	<p>1. カリキュラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・(R4活動計画)環境保全教育 教学委員会において、全学の環境活動計画を周知し、環境保全の重要性を深める教育の一層の推進を図る。 →教学委員会において、全学の環境活動計画を周知し、環境保全の重要性を深める教育の一層の推進を図った。</li><li>・(R4活動計画)全学共通教育において、環境に関する科目を実施する。 →全学共通教育において、環境に関する授業科目を36科目開講し、1754人の受講者があった。</li></ul> <p>2. 正課外活動における環境教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・(R4活動計画)環境保全活動を実施している学生の課外活動団体に対し支援を行う。 →課外環境活動を実施している学生団体「岐阜大学環境サークルG-amet」に対して経済支援及び古本市の場所を提供した。同サークルは、第13回中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会で学長賞を受賞しており、岐阜大学としても副学長表彰を授与した。</li><li>・(R4活動計画)「クリーンキャンパス」に学生の積極的な参加を促し、環境保全教育に取り組む。 →全学の学生へクリーンキャンパスへの参加をメールにて呼びかけた。学生団体「岐阜大学環境サークルG-amet」の参加を確認している。</li></ul>
研究	
社会連携	
キャンパスプラン	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境美化を行い緑地保全を推進するため、クリーンキャンパスに積極的に参加した。</li><li>・「ISO14001環境マネジメントシステム」に係る教育訓練再確認シートを定期的に記入し、自己啓発に努めた。</li><li>・岐阜大学環境方針を常時携帯し、周知カードに各人の役割、環境保全活動を記載し、実行した。</li><li>・昼休み時間における消灯、講義室の消灯、裏紙活用、縮小印刷、エアコンのフィルターの掃除(2週間に1回実施)など資源の再利用を促進し、省エネルギーに関する取組をより一層推進した。</li></ul>